准看護師科

科目名称	薬物療法と看護	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期		20
担当教員	川﨑由希　山本はる子	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 薬剤師 ） □ 無	

【1】 授業概要

的確な薬物療法を行うために必要な基本的な考え方（薬理作用、有害事象、与薬時の注意事項）と共に、与薬の実践者であり患者に最も近いところで作用と副作用を観察する立場にある看護師が行う援助のあり方を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 与薬の目的と看護師の役割を理解する。
2. 経口与薬、坐薬挿入など注射法以外の与薬の援助について理解する。
3. 主な薬物について、その薬理作用、有害事象について理解できる。
4. 患者個人の特性やライフスタイルに基づいた、その人にとって最適な薬物療法への援助のあり方について学ぶことができる。
5. 薬物の管理と暴露予防策について理解する。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

□ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
■ 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
□ 5. 多職種との連携・協働
□ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	与薬の目的と看護師の役割　与薬の援助の基礎知識	講義
2	経口与薬、坐薬、外皮用薬その他の与薬の援助	講義
3	事例検討 ① 個人ワーク	講義・個人ワーク
4	事例検討 ② グループワーク	グループワーク
5	事例検討 ③ グループワーク	グループワーク
6	事例検討 ④ グループワーク	グループワーク
7	事例検討 ⑤ 睡眠薬・利尿薬・降圧薬	グループ発表
8	事例検討 ⑥ 鎮痛薬（オピオイド）・血糖降下剤・ステロイド薬	グループ発表
9	事例検討 ⑦ 人体へのリスクの大きい薬剤の暴露防止　まとめ	グループ発表
10	筆記試験	

【5】 評価方法

筆記試験 60 点　グループワーク参加度 30 点　出席点 10 点で総合的に評価する。

【6】 教科書

看護学入門2　薬理　メジカルフレンド社　2022 年

【7】 参考書

【8】 受講生へのメッセージ